

2024年6月25日
西日本旅客鉄道株式会社

～駅のホームの安全性向上にむけて～

西九条駅1番のりばの「改良型可動式ホーム柵」使用開始 について

JR西日本では、より安全に安心して鉄道をご利用いただけるよう、駅のホームにおける安全性向上を重要な経営課題ととらえ、ハード・ソフトの両面からさまざまな取組みを進めております。

2023年4月1日から京阪神地区の整備対象エリアにおいて、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、お客様のご理解とご協力をいただきながら、バリアフリー設備の整備を進めております。

このたび、西九条駅1番のりばの「改良型可動式ホーム柵」の使用開始日が決まりましたので、お知らせします。

1. 西九条駅 1番のりば「改良型可動式ホーム柵」

(1) 設置箇所

1番のりば 大阪環状線（外回り）
（大阪・京橋方面の快速・普通電車が発着）

(2) 使用開始日

2024年6月28日（金）始発列車から
※工事の進捗状況により変更することがあります



画像はイメージです

※西九条駅、弁天町駅のすべてののりばについては大阪・関西万博を見据え2024年度中の整備完了を目指しています。

(3) 設置するホーム柵の特徴

※今回、初めて西九条駅1番のりばに導入します。

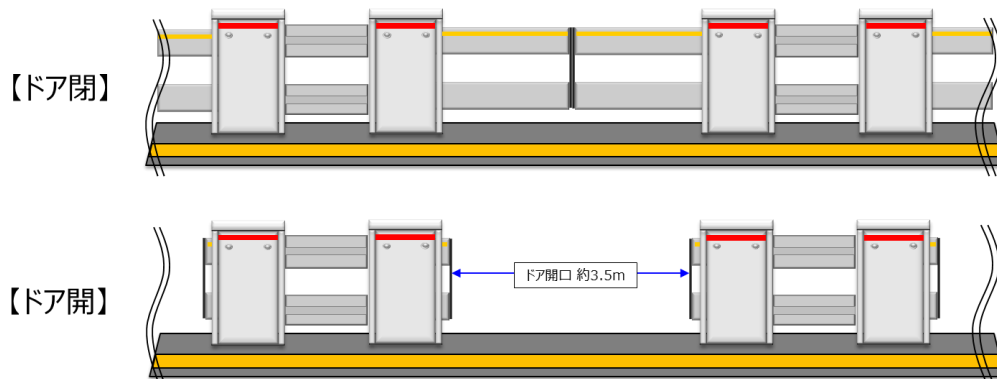
一特徴

転落・接触を防ぐホーム柵の安全機能を維持しながら、以下の改良を行いました

①開口部を設け風荷重の低減 【受風面積 従来比約 2 / 3】

②構造を見直し、軽量化 【重量 従来比約 2 / 3】

これにより、ホーム柵の土台となるホームの補強を軽減することができ、ホーム柵の整備を加速してまいります。



※(株)JR西日本テクシア・ナブテスコ(株)との共同開発

2. ホームと車両の段差・隙間縮小

ホーム柵の使用開始に合わせ、323系（主に普通列車）の車両を対象に以下の乗降口で段差・隙間を縮小します。

（整備箇所） 1号車 3番ドア、5号車・8号車の1番ドア

※詳細は、大阪環状線・JRゆめ咲線において ホームと車両の段差・隙間縮小を展開（2024年3月14日ニュースリリース）をご確認ください。

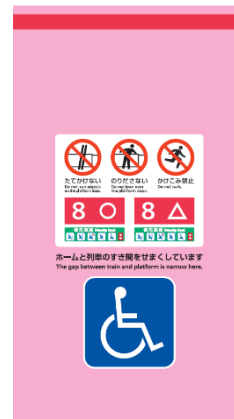
https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/03/page_24780.html

・設置イメージ

【くし状ゴム】



【対象ドア位置の案内表示】



（参考）

・鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備
（2022年8月19日ニュースリリース）

https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page_20617.html

・鉄道駅バリアフリー料金制度に関する整備等計画の変更について
（2024年3月27日ニュースリリース）

https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/03/page_24888.html

- ・西九条駅・弁天町駅の全のりばに「改良型可動式ホーム柵」を設置します。

(2023年3月3日ニュースリリース)

https://www.westjr.co.jp/press/article/2023/03/page_22027.html

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に9番、10番、11番に貢献するものと考えています。

